

## インターバンクの声（2015年5月15日）

一昨日に発表された4月の米小売売上高が予想以上に低調だった為、一気にドル売りが進むのではないかと思われたドル円だが、その後は119円を挟んで上下50銭にも満たない狭いレンジでの取引が続いている。この相場では、ドル買いポジションを積み上げるのも難しければ、120円台でドル売りを躊躇ってしまった手前、このレベルでドルを売るわけにもいかない。やはり120円を超える相場に戻るか、118円台の中盤を割り込むようであれば新たな展開は望めそうもない。この刺激の少ないドル円相場では、個人投資家の皆さんがユーロのみならず、豪ドル、英ポンド、ニュージーランド・ドルに触手を伸ばして来るのも頷けてしまう。金融機関のプロのディーラーですら利益を上げるのが難しいとされる英ポンドやニュージーランド・ドルの取引でも、どうやら個人投資家の方々は結構うまく利益を上げているらしい。プロのディーラーにとっては負け惜しみになってしまうが、一昔前に比べるとプロが掴める情報と個人の方々が掴める情報の質と量に大差が無くなってきたことも要因の一つだが、プロのディーラー間での個別情報の交換が難しくなり、逆に個人の方々は無用に神経質になってしまうような情報が入らないことで、素早い決断を躊躇わずに出来るためなのかも知れない。個人投資家の皆さんが儲かるのは喜ばしいことですが、英ポンドやニュージーランド・ドルといった通貨は、時折とんでもない動きを見せることだけに留意して頂きたい。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。